

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター ホープ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20世帯	(回答者数) 17世帯
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・安心感をもって通所していただいている。	・安心して療育を受ける事ができる環境の設定。 ・ニーズに応じた療育の提供。 ・スタッフとの信頼関係。 ・療育後の保護者の方との振り返りの時間での情報交換や成長の共有。	今後もお子様楽しく安心して通所していただけるよう努めます。また、保護者様と連携しながらお子様の成長発達に応じた療育を提供していきます。また、スタッフのスキルアップに努め、寄り添う支援を大切にします。
2	・生活空間は清潔で心地よく過ごせ、こどもたちの活動に合わせた空間となっている。	・定期的な清掃と消毒。 ・療育内容や状況に合わせた環境の設定。 ・ニーズに合わせた空間の使い方。	お子様や保護者の方が安心して心地よく過ごせるよう、安全で清潔な環境設定に努めます。また、療育の内容や人数に合わせ、使用する室内を変えたりと配慮しながら療育を行います。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育後のフィードバックの時間内で、保護者の方の話を聞く時間が十分に取れていない。	・療育後のフィードバックの時間が限られている。 ・療育時間外での相談が気軽にできるような雰囲気づくりや環境が整っていない。	普段より、必要に応じて個別での相談ができることを周知し、保護者の方に気軽に相談やお話をいただけるような環境作りに努めます。また、スタッフ側からもお子様のご様子を伺いたい時など個別にお声がけさせていただきます。
2	・非常災害の発生に備え定期的な訓練を行っているが、保護者に周知できていない。	・訓練の時間帯が固定化されている。 ・訓練の情報や訓練後の様子の周知方法。 ・訓練の参加者。	避難訓練に関しましては、定期的に訓練を行っております。訓練の情報や様子などホームページに掲載しお知らせしておりますが、今後はホープ内の掲示板でのお知らせも含め情報の発信ができるよう努めます。
3	・事業所の行事等について。 (地域住民の方との交流ができる行事の開催ができていない。)	・開催にあたっては、法人内の他事業所との兼ね合いもあるため、法人全体での協議が必要になり開催できていない状況。	法人全体では、外部を招待しての行事の開催について要望もあがっているため、法人として協議を重ねてまいります。開催が決まりました際は、ホープのご利用者様にもお知らせいたします。